

●S 状結腸がん

症例 5 : 50 代 男性

病状 : S 状結腸がんは、すでに腹膜播腫、肝転移が判明していたが、腸閉塞対策で切除を行った。通常療法を施行するならば化学療法が必須であるが、患者が拒否したためコロイドヨード療法となった

治療 : 1 回 30ml の C.I.M.N を 2 時間ごとに 1 日 8 回内服することとしたが、自覚症状がほとんどないためあまり熱心ではなく、1 日の内服回数は 2~4 回だったと考えられる。1 ヶ月後、手術後の CEA89 は 126 とむしろ悪化し、食欲不振などの症状が出現してきたため、1 日 8 回の C.I.M.N の内服を厳守とし、週 3 回の C.I.M.N の注射 (1 回 30ml) を併用することとした

結果 : さらに 1 ヶ月後、CEA46、食欲、全身状態の改善がみられた。さらに 2 ヶ月後には、CEA3.6 となり、画像上は完全治癒と診断された

●原発不明がん

症例 6 : 60 代 女性

病状 : 体重減少により精査の結果、骨盤内の巨大腫瘍が発見された。腸閉塞症状は見られず、少量貯留していた腹水を穿刺、細胞診した結果、腺がん細胞との所見を見たが依然として原発は不明であった

治療 : C.I.M.N の注射を主体として治療を開始した。まず、1 日 30ml を 7 日間連続で注射したところ食欲が向上し、全身倦怠感も軽減したため、さらに 2 日間注射を継続した。その後は週 3 回の注射とした

結果 : MRI 検査上は腫瘍が著明に縮小し、計 3 ヶ月で認められなくなった。治療中、著しく体力が向上した

●口腔がん

症例 7 : 50 代 男性

病状 : 口腔がんの発見はステージ I だった

治療 : 50ml の C.I.M.N を 1 日 3 回、口の中をすすぐようにして内服した

結果 : 1 ヶ月半継続して内服し、検査を受けたところ、がん細胞は消滅していた

●子宮がん

症例 8 : 20 代 女性

病状 : 子宮がんが子宮内のみならず膀胱壁まで浸潤している状態

治療 : C.I.M.N を 2 時間ごとに 50ml を内服した。その他、患部を徹底的に温めた

結果 : 約 4 ヶ月後、概ね完治した